

足腰悪くても快適な旅



足が不自由でもハワイの海を満喫できる(ワ
イキキビーチ) 〓エイチ・アイ・エス提供

車いすなどの高齢者が旅行する際の注意点は何か。旅行会社に申し込む時点では体の状況を正確に伝えること。断られるのではと過少申告する人がいるが、正確に伝えてこそ自分に合ったプランを紹介してもらえる。高齢になると体調を崩すリスクも高くなる。国内旅行でも旅行保険の活用を検討すべきだ。海外

旅行会社に相談 最適なプランを

旅行に持って行くと便利なグッズ	理由
車いすのパンク修理剤	近くに自転車屋がない場合に備えて
首から下げられるボールペン	筆談が必要な時にすぐ使えるように
ウェットティッシュ	車いすだと手が汚れやすいので
帽子	直射日光を避け体力の消耗を防ぐ
日焼け止め	体がほてり体調を崩す場合があるため
長袖のシャツ	体温調節をするため

(出所)日本旅行業協会の「バリアフリー旅行ハンドブック」を基に作成

しっかり準備 楽しく安全に

NPO法人、東京バリアフリーツアーセンター(東京・江東)の齋藤修理事長は「障害者目線の情報を集める必要があり、事前に障害者支援団体に聞いた方がよい」と助言。同センター(☎03・36446・3544)のほか、各地の社会福祉協議会やボランティアセンターで相談先を紹介してもらってもできる。

篠塚恭一社長は「旅に出れば、外に出てもなんとかなるという自信が出る」と指摘。「それが普段の生活にも影響を及ぼし、日常生活が豊かになる」としている。(辻征弥)

なら滞在先の医療機関も調べておいた方がいい。ハワイなら日本語が通じる医療機関がある。

車いす移動や入浴サポート 国内外問わず充実

SPIあ・える倶楽部のトラベルヘルパーの利用例

設定	
● 都内在住。要支援の高齢者	
● トラベルヘルパーを利用し箱根に2日間の旅をした際の費用例	

トラベルヘルパー基本料	2万1600円×2日 =4万3200円
宿泊代	1万5000円×2名 =3万円
旅費	4000円×2名 =8000円
介護旅行手配料	8200円
夜間の見守り費用など	1万400円
合計	9万9800円

「家族旅行の9割はハワイ」と話す。ホテルや交通機関などのバリアフリー対応が

高齢者に選択肢広がる

「足腰が悪くても快適な旅を楽しみたい」。介護が必要な高齢者が増えるなか、国内・国外を問わずバリアフリーの旅行の選択肢が広がってきた。観光地なども受け入れ体制を整備し、旅行各社もツアーを用意する。介護者が同行してくれるサービスもある。

「杖(つえ)・車いす(78)は入浴時に介助が必要だ。「広々としたお風呂にゆっくりとつかりたい」。ラブツリゾート(東京・新

ヘルパー2級)以上の資格を持ち、大浴場での入浴を助けてくれる。旅行代金は5万4800〜9万9800円。同社ユニバーサルデザイ

「足腰が悪くても快適な旅を楽しみたい」。介護が必要な高齢者が増えるなか、国内・国外を問わずバリアフリーの旅行の選択肢が広がってきた。観光地なども受け入れ体制を整備し、旅行各社もツアーを用意する。介護者が同行してくれるサービスもある。

「杖(つえ)・車いす(78)は入浴時に介助が必要だ。「広々としたお風呂にゆっくりとつかりたい」。ラブツリゾート(東京・新

「杖(つえ)・車いす(78)は入浴時に介助が必要だ。「広々としたお風呂にゆっくりとつかりたい」。ラブツリゾート(東京・新